

大会会長あいさつ

第45回全国少年少女躰道優勝大会並びに第42回全国高校生躰道優勝大会が新潟市体育館で開催される運びとなり、全国から多くの仲間達が集い熱戦を繰り広げられようとしています。優秀な指導者が育て上げてきた選手達が技を競う全国大会。この全国大会にエントリーされた選手の身体能力は高く、一瞬も目を離せません。

「躰道は子供が何気なく行う所作から産まれた。旋技は後ろを振り向く、運技は立ったり座る、変技は前横に倒れる、捻技は寝返りをうつ、転技はつまずき転ぶ等の動作を技化したもの。」「人々が共存するには調和の心と行動が必要である。共栄するには創造の智と作業がどうしても必要。」このメッセージは、初代祝嶺最高師範より今から30年前の新潟練武館10周年記念大会の時に頂いたものです。この言葉の通り、少年少女の身体を育成するには躰道の躰技が最適であると確信し、技術指導をしてきました。

当時幼かった子供たちが30年の歴史とイベントなどを経験し、立派な指導員になってくれました。この大会の3週間前にアメリカのアトランタから選手や父兄約100名が新潟を訪ねてくれ、新潟の関係者とあわせ合計200名の交流演武会を企画・運営しました。「みんなで楽しめる祭りのような手作りの交流会を・・・」と提案し、アメリカ選手団からは「大変感銘深い交流演武会だった」と心から喜んで頂きました。この勢いで、この全国大会も全国躰道を愛する仲間たちが楽しめるよう準備を進めて参りましたので、皆様の思い出に残る大会になるように願っています。

最後に成りましたが、この大会にご尽力を頂いた実行委員の皆様、会場設営準備に力を貸して下さった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

令和6年7月

第45回全国少年少女躰道優勝大会

第42回全国高校生躰道優勝大会

大会会長 泉 智慶